



TOYO
ENGINEERING

2021年3月期本決算 経営方針

2021年5月13日
東洋エンジニアリング株式会社

A vibrant background image showing a bright sun with rays shining through white, fluffy clouds in a clear blue sky. Below the sky, a calm blue body of water stretches across the bottom, with a distant shoreline visible under a clear horizon.

本日の内容

1. 2021年3月期の業績(連結)
2. 進行中の主要プロジェクト一覧
3. 進行中プロジェクトにおける新型コロナの影響
4. コロナ禍における2020年度取組み (継続中)
5. 2022年3月期の事業環境認識と受注見通し
6. 2022年3月期の業績見通し(連結)
7. TOYOのエナジートランジションロードマップ

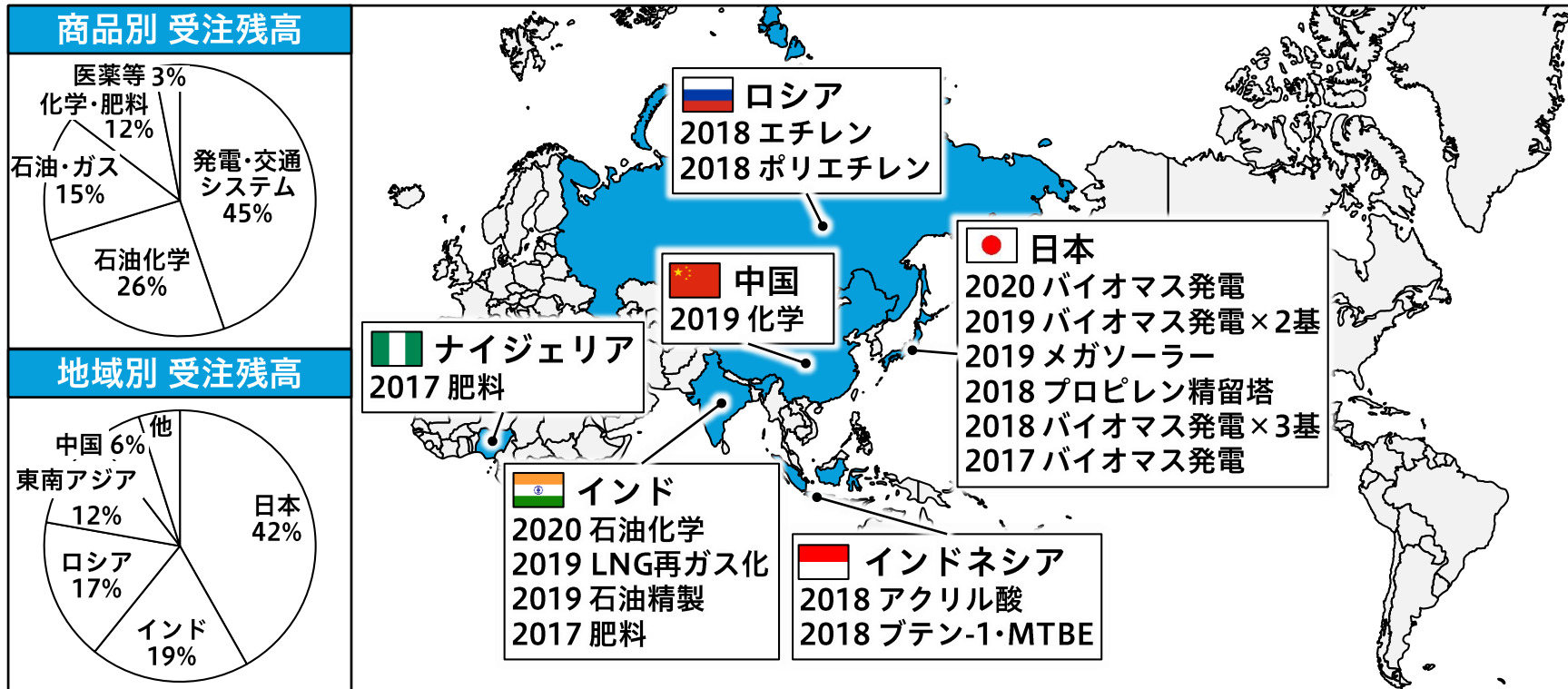
1. 2021年3月期の業績(連結)

収支は3/25修正水準で着地したものの、受注高は案件の期ずれ等により達成率56%

単位：億円	期首見込(A)	3/25修正(B)	期末実績(C)	差異(C-A)	差異(C-B)
売上高	2,100	1,850	1,840	△260	△10
売上総利益	175	-	185	+10	-
売上総利益率	8.3%	-	10.1%	+1.8pt	-
販管費	170	-	169	+1	-
営業利益	5	15	16	+11	+1
営業外損益	0	-	11	+11	-
経常利益	5	25	27	+22	+2
親会社株主帰属当期純利益	0	10	8	+8	△2
受注高	2,200	-	1,228	△972	-
受注残高	-	-	3,106		
配当	-	-	-		

2. 進行中の主要プロジェクト一覧 ※数字は受注年度を示す

受注残高の約4割が日本の再エネ。その他商品・地域で分散されたポートフォリオを形成



3. 進行中プロジェクトにおける新型コロナの影響

インドは現場ワーカー確保に制約あり、ロシアは調達が遅延。その他の国は影響軽微

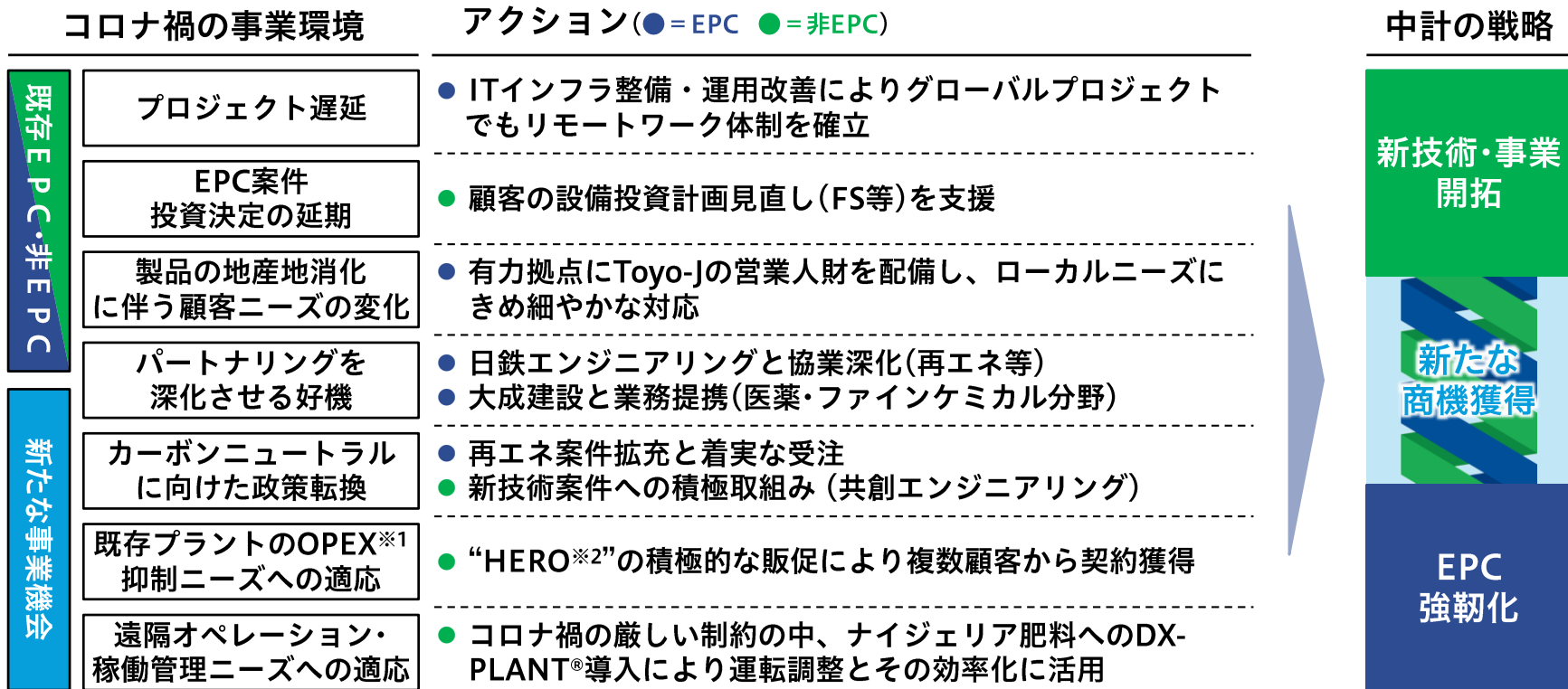
国	プロジェクト	役務範囲	進捗	E(設計)	P(調達)	C(工事)
インド	肥料	EPC	98%	✓ 完了	✓ 完了	⚠️ ワーカー動員 9割
	LNG再ガス化	EPC	54%	✓ 在宅・リモート 進捗90%	✓ 影響軽微	⚠️ ワーカー動員 6割
	石油精製	EPC	46%	✓ 在宅・リモート 進捗90%	✓ 影響軽微	⚠️ ワーカー動員 5割
ロシア	エチレン	EP + Cm※1	60%	⚠️ 在宅・リモート 影響注視	⚠️ 機器資材 納期遅延	-
	ポリエチレン	EP + Cm	52%	⚠️ 在宅・リモート 影響注視	⚠️ 機器資材 納期遅延	-
ナイジェリア	肥料	EP + SV※2	97%	✓ 完了	✓ 完了	✓ 試運転中
インドネシア	石油化学	EPC	99%	✓ 完了	✓ 完了	✓ 影響軽微
日本	再エネ	EPC	-	✓ 影響軽微	✓ 影響軽微	✓ 影響軽微

※1: Construction Management

※2: Supervision

4. コロナ禍における2020年度取組み（継続中）

環境変化に適応し今期以降の案件を仕込み、新たな事業創出のため中計初年度から加速



※1 : Operational Expenditure

※2 : 数理最適化技術を用いたプラント省エネサービス

5. 2022年3月期の事業環境認識と受注見通し

※青：EPC案件、緑：非EPC案件

新規受注目標 2,800億円

既存事業領域		新規事業領域	
事業領域	主な受注見込案件 / 事業環境認識	事業領域	主要な受注見込案件 / 事業環境認識
化学・肥料	<ul style="list-style-type: none"> ● アンモニア(インド) ➡ 投資抑制の反動・食料需要伸び 	循環型 低環境負荷	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃プラリサイクル ➡ 産業の枠組を超えたりサイクル推進
石油化学	<ul style="list-style-type: none"> ● ポリマー(インド・日本) ● 高機能化学品(中国) ➡ 自動車生産回復で投資抑制の反動 	CO ₂ 利活用 /省エネ	<ul style="list-style-type: none"> ● CCUS関連のFS ● HERO ➡ 新技術の社会実装が国策化
石油・ガス (FPSO等)	<ul style="list-style-type: none"> ● FPSO ➡ 保有資源の活用ニーズ多様化 	次世代 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ● 燃料アンモニアのFS ● SAFプラントの大型化 ➡ バリューチェーン構築検討が本格化
発電 (再エネ・ガス火力)	<ul style="list-style-type: none"> ● バイオマス発電(日本) ● 地熱発電(インドネシア) ➡ 世界的な再エネ需要拡大 	資源・エネルギー 安全保障	<ul style="list-style-type: none"> ● アラスカ・メタンハイドレート ● 海洋レアアース泥 ➡ 海洋資源の生産技術開発が加速
交通システム	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道(インドネシア) ➡ 堅調な新興国インフラ投資 	Quality of Life (医薬等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本・先進医薬品、高機能化学品 ➡ 顧客が高付加価値製品へシフト

6. 2022年3月期の業績見通し(連結) ※2022年3期の前提為替レート=108円/USドル

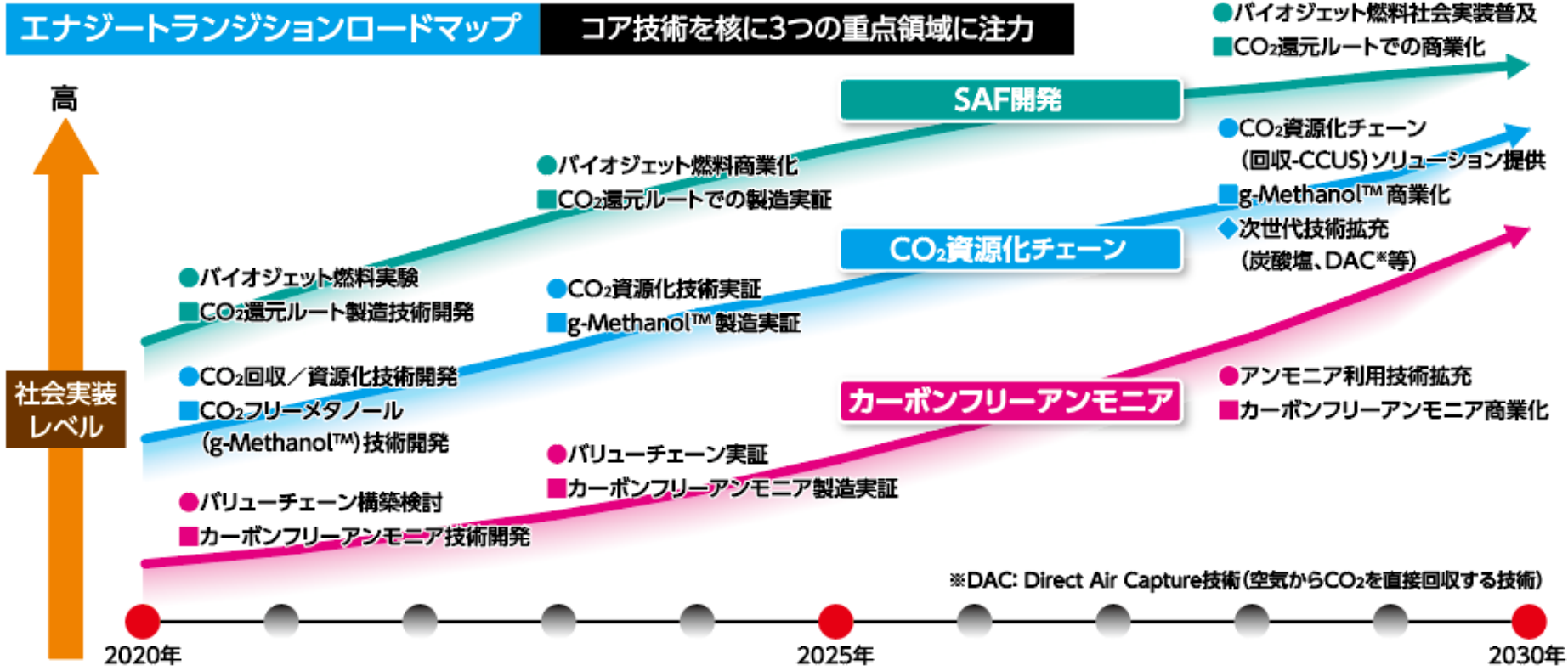
営業利益25億円、当期純利益15億円の見込み。財務規律の下で DX・R&D投資を拡大

単位：億円	20/3期(A)	21/3期(B)	22/3期(C)	差異(C-B)	差異(C-A)
売上高	2,190	1,840	2,400	+560	+210
売上総利益	187	185	230	+45	+43
売上総利益率	8.6%	10.1%	9.6%	△0.5pt	+1.0pt
販管費	168	169	205	△36	△37
営業利益	18	16	25	+9	+7
営業外損益	5	11	-	△11	△5
経常利益	24	27	25	△2	+1
親会社株主帰属当期純利益	16	8	15	+7	△1
受注高	1,870	1,228	2,800	+1,572	+930
受注残高	3,892	3,106	3,506	+400	△386

配当：無配予定

7. TOYOのエネルギー転換ロードマップ

2023~2025年には一部収益に貢献。2025年以降本格的に商業化し、収益の柱へと成長



社会実装
レベル



東洋エンジニアリング株式会社

URL <https://www.toyo-eng.com>

【お問い合わせ】

〒275-0024 千葉県習志野市茜浜 2-8-1

広報・IR部長 飯田 渉

電話 047-454-1681

E-mail ir@toyo-eng.com

本資料に記載されている見通しや業績予想などのうち、歴史的事実でないものは現在入手可能な情報から得た当社の経営陣の判断にもとづき作成しております。実際の業績は、当社の事業領域を取り巻く国内および海外の経済・金融情勢等、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは異なる結果となりうる事をご承知おきください。